



琉通ロジスティクス
総合研究所

2023年度
第一期
第3回ロジスティクス人材育成研修報告書

日 時:2023年12月6日(水曜日)

会 場:アイムユニバースてだこホール

目次

- 1、プログラム・・・・・・・・・・ 2P
- 2、活動報告書・・・・・・・・・・ 3P- 8P

プログラム

No	時 間	分	プログラム	担当者
1	9:30-9:35	5	オリエンテーション	事務局
2	9:35-9:40	5	開講訓示	兼次理事
3	9:40-9:50	10	講義	雨宮講師
4	9:50-10:05	15	質問作戦タイム(チームで質問する内容を考える)	研修生
5	10:05-11:05	60	コンテナGPSに対する質疑応答 (4チーム各15分間)	小橋川課長 NEC国吉氏
6	11:05-12:15	70	グループワーク (USB事務局へ提出:12:15時間厳守)	研修生
7	12:15-13:15	60	ランチタイム (13:00までに全チームの資料配布)	全体
8	13:15-13:25	10	作戦タイム	研修生
No	時 間	分	プレゼンテーション&ディベート	担当者
1	13:25-13:30	5	ディベート方法の説明	事務局
2	13:30-13:35	5	プレゼンテーション Aチーム	研修生
3	13:35-13:40	5	プレゼンテーション Bチーム	研修生
4	13:40-13:45	5	作戦タイム	研修生
5	13:45-14:15	30	ディベート Aチーム対Bチーム	研修生
6	14:15-14:20	5	講評	宮城理事
7	14:20-14:25	5	休憩	参加者
8	14:25-14:30	5	プレゼンテーション Cチーム	研修生
9	14:30-14:35	5	プレゼンテーション Dチーム	研修生
10	14:35-14:40	5	作戦タイム	研修生
11	14:40-15:10	30	ディベート Cチーム対Dチーム	研修生
12	15:10-15:15	5	講評	宮城理事
13	15:15-15:20	5	休憩	参加者
14	15:20-15:25	5	プレゼンテーション Aチーム	研修生
15	15:25-15:30	5	プレゼンテーション Dチーム	研修生
16	15:30-15:35	5	作戦タイム	研修生
17	15:35-16:05	30	ディベート決勝戦 A対Dチーム	研修生
18	16:05-16:10	5	講評	宮城理事
19	16:10-16:25	15	総評	雨宮講師
20	16:25-16:30	5	総括	新垣代表理事
21	16:30-17:00	30	会場片付け	事務局・研修生

1	Aチーム	琉通CVS事業部 課長	琉通管理本部 主任	リウスイ 主任	琉通運輸部 主任
		有馬 浩平	島袋 貴弘	石橋 龍	多和田 真吾
2	Bチーム	大丸自動車 社長	琉通営業部	琉通物流C 主任	大丸自動車
		砂川 孝史	新垣 颯	国吉 史丸	下森 毬生
3	Cチーム	産経運輸 部長	琉通国際部 係長	琉通営業部 主任	琉通航空営業部 主任
		兼城 忍	與儀 菜々子	郭 施昱	本永 一貴
4	Dチーム	リウスイ 部長	琉通管理本部 係長	産経運輸 次長	琉通輸送部 課長
		東江 清和	大里 智美	吉田 真寿	比嘉 博斗

活動報告

2023年度 第一期第3回ロジスティクス人材育成研修会 活動報告書

日時・会場	2023年12月6日(木)09:30-16:30 浦添市アイムユニバース てだこホール マルチメディア室
出席理事	琉通ロジスティクス総合研究所:新垣代表理事、兼次理事、宮城理事、下地理事
出席研修生 15名	琉球通運株式会社:有馬浩平、比嘉博人、大里智美、與儀菜々子、多和田真吾(欠席)、 国吉史丸、島袋貴弘、郭施昱 (8名)
(1名欠席)	株式会社琉球通運航空:本永一貴(1名)
(敬称略)	株式会社産経運輸:兼城忍、吉田真寿(計2名)
別添資料2 参照	株式会社リウスイ:東江清和、石橋龍(2名) 大丸自動車株式会社:砂川孝史、下森毬毛(2名)
聴講者 4名	トヨーカネツ:ソリューション事業本部 飯野恵参与、竹内理徳(2名) 琉球物流株式会社:常務取締役 友寄正己(1名)
(順不同)	トヨタコネクテッド株式会社:新事業推進室 澤田正幸(1名)
講師	雨宮路男(株式会社エム・ロード・エキスパート)
研修テーマ	「琉球通運グループで取り組むコンテナ GPS の効率管理」
研修題材	「全日本物流改善事例大会 2023.5.16」琉球通運輸送部:小橋川作成 「令和5年度沖縄物流デジタル技術活用推進事業 2023.07.07」琉球通運輸送部:小橋川作成 「令和5年度沖縄物流デジタル技術活用推進事業(中間報告)2023.12.06」琉球通運:小橋川作成 「令和5年度 コンテナ動静管理システム紹介」 NEC ソリューション イノベータ 國吉氏作成 上記4つの資料を事前予習
研修内容	コンテナGPS事業担当者への質疑応答(各チーム15分) チーム別グループワーク(130分)、プレゼンテーション(各チーム5分)、ディベート対戦(各30分) ディベート決勝戦30分
別紙	研修で使ったワークシートは別紙添付資料を参照
研修ポイント	身近な題材「コンテナ GPS の効率管理」を主体性を持って戦略を立て、提案する力、主張する力を プレゼンテーション及びディベートを繰り返し行い訓練した。ディベートは決勝戦まで行った。
事務局	琉通ロジスティクス総研:仲泊さつき、琉球通運:宮城信一郎、鈴木智博、金城勝江、玉城多恵

兼次理事より開講訓示



皆さんは今回のような様々な研修を受けているが、皆さんは原野を耕しているのである。畑を耕し、種をまき、将来的にまいた種が実るように皆さんが受けているこの研修はきっと次の世代に続き、それが後継者育成になり事業継承になる。

次世代のステップだと私は思う。ぜひこの人材育成研修の効果、成果を二期生に繋げてほしい。今回の課題である「コンテナ GPS 効率管理」を頑張ってしっかり学んでいただきたい。

1. 09:50～コンテナ GPS 事業担当者への質疑応答(各チーム 15 分間、計 60 分間)

事前予習で課題資料を読み込んだ上で、チームで 15 分間質問をしワークシートをまとめる。



A チーム

リーダー有馬さん、島袋さん、石橋さん

実施施策名: 情報共有をデジタル化

1. 情報共有をデジタル化
2. Sigfox ロケーション監視サービスの活用
3. ペーパーレス化で事務処理効率向上
4. 計画的なシステム導入



B チーム

リーダー砂川さん、国吉さん、新垣さん、下森さん

実施施策名: ドライコンテナの入出庫管理システム

1. ドライコンテナ入出庫管理システム
2. 運用スケジュールの作成
3. GPS での温度データ管理
4. システム強化を行う際の開発費用



C チーム

リーダー兼城さん、郭さん、與儀さん、本永さん

実施施策名: 情報共有により顧客満足度の向上

1. コンテナ回転率向上によりコスト削減
2. コンテナの見える化により業務効率化
3. 情報共有により顧客満足度の向上
4. コンテナ動静管理システムの充実



D チーム

リーダー比嘉さん、東江さん、吉田さん、大里さん

実施施策名: 稼働状況可視化で効率アップ

1. GPS 導入によるコンテナ管理
2. コンテナ稼働による見える化
3. 情報共有
4. データ管理

2. グループワーク(130分) 質疑応答した内容をチームでワークシート6枚にまとめる

Aチーム



Bチーム



Cチーム



Dチーム



3. 13:30～プレゼンテーション(各5分)、Aチーム対Bチームのディベート(30分)



Aチーム：有馬さん、島袋さん、石橋さん 対 Bチーム：砂川さん、新垣さん、国吉さん、下森さん

宮城理事よりA,Bチームのプレゼンテーション、ディベートへの講評

全体的に感じたことは1回目2回目より資料を埋めてきているチームとほぼ変わらないチームもあり、受け答えもしっかりできてきている人もいれば、回答に窮するところもあり、人それぞれ成長の度合いが異なると見て取れた。プレゼンテーションについては、どこを話しているのかポイントを絞るなど、聞く側が分かりやすい話し方が必要だと感じた。

またワークシートについては、今回の第3回研修では事前に課題と資料を配布されていたので全て埋めてほしい。ワークシート作成などの役割分担でリーダーの差が出たと感じた。ディベートでは言葉の説明を求めるだけでなく、つじつまの合わない箇所の指摘など、もう少し掘り下げた質問や回答をする事が必要であり、今後の課題であると感じた。以上をふまえてこの対戦はAチームに優位性があった。

3. 14:25～プレゼンテーション(各5分)、Cチーム対Dチームのディベート(30分)



Cチーム：兼城さん、郭さん、本永さん、與儀さん 対 Dチーム：大里さん、比嘉さん、吉田さん、東江さん

宮城理事よりC、Dチームのプレゼンテーション、ディベートへの講評

ディベートは両チームとも大変良かった。回答が具体的な事象を用い考えている事を分かりやすく説明できていた。回答する側も躊躇なくハキハキと自信を持って回答していたところが両チームともに非常に良かった。それぞれの評価としてはCチームのプレゼンテーションは少し大まかで具体的な説明が必要と感じた。またDチームは資料が丁寧で全てを語らなくともその流れが分かりやすいシートがあった。そして興味を持ったのはDチームの表紙の最重要実行施策がチームで上げた課題4つを全て織り交ぜているのが他にはない特徴で面白く感じた。よってDチームの勝利とする。

4. 15:20～プレゼンテーション(各5分)、Aチーム対Dチームのディベート決勝戦(30分)



Aチーム：島袋さん、有馬さん、石橋さん 対 Dチーム：大里さん、比嘉さん、吉田さん、東江さん

宮城理事より C、D チームのプレゼンテーション、ディベート決勝戦の講評



プレゼンテーションの話し方は両チーム共にスムーズでうまくなったと感じた。A チームにおいては最重要実行施策に挙げた「情報共有をデジタル化」を重視したプレゼンができれば良かったと思う。それを実行した結果どのようになるのかが分からなかったのは残念であった。しかしながら1回目のプレゼンを反省し2回目はより丁寧に話したのが伝わり良かった。D チームは話し方も良くなり、かつ1回目に比べ2回目はポイントを絞った説明が良かった。しかし1、2回目のプレゼンで説明の内容を替えず、こだわった理由の説明があればより良かったと感じた。これまでのプレゼン、ディベートを総合的に判断し、D チームに優位性があった。

両宮講師より総評



2試合やると良くなることがよく分かったと思う。今回の研修は3回経験することでスキルを上げられることも良く理解できたと思う。プレゼンテーションにおいて表紙は非常に大事で表紙でチームが何を語るのかが一目で分かる。優勝した D チームは資料の担当者名までしっかり埋められていた点が良い。

今回の課題「コンテナ GPS 効率管理」は今年5月の発表と、その中間報告、今後取り組む事例を読み込むとその違いが見えてくる。その中にどんな気づきがあったのか、どう情報収集するかを訓練だった。今回は事業担当者へヒアリングをするという方式で行い、それぞれのチームが質問をしていたが、優勝した D チームは資料を読み込んでいたからこそストーリー性を持って、限られた時間の中で聞き取りも良くできていた。

資料作成について解説すると、問題発生要因は何であるかを出し、真因にたどりつけるかどうかが重要である。

問題を解決する為にどんなことをすれば良いか。実行項目を替えることによってどう効果を検証するか。そしてその効果は数値化しなければならない。18 ヶ月という期間は非常に意味があり、4半期を6回繰り返すことが今後大切になる為、皆さんには身に着けてほしい。18 ヶ月かけて取り組んだことを標準化することがポイントであり、その改善に限界は無い。それからリードタイムという概念をきっちり覚えてほしい。今や“Order Today Delivery Today = 当日発注当日お届け”が当たり前になってくる。何日かけて物が運ばれてくるのかをどう着眼し、コストがかかっているのかを考えてほしい。

リードタイムをいかに短くするか。リードタイムを短くしたらコストが削減され生産性が上がるわけである。

次のステップとして施策や改善を実行する段階で反対勢力が必ずある。これは改善をする為に絶対に取り組まなければならないことであり、いかに実行施策を全員に浸透させるかが必要である。皆さんにはそれも訓練してほしい。

D チームの良いポイントとして、顧客満足度の数字まで記入できたこと。ロジスティクスはお客様を満足させるためにどうすべきなのかを点数をつけて評価できることが大切である。そしてその投資金額に対して効果を出さなければならない。会社経営において投資と回収は重要であり、早く元を取れば次の投資に充てられ会社が成長していく。それには事業拡大をしていかなければならない。コンテナ GPS システムを売り、コンテナの積載量、回転数を上げ、安全で品質が高く、ローコストで生産性の高い物流をこの研修で身に着けていただき、皆さんには今後実務で生かしていただきたいと思う。3 日間の研修おつかれさまでした。

新垣代表理事より総括



皆さんおつかれさまでした。三ヶ月に渡る3回の研修いかがだったでしょうか？ロジスティクスは労働集団ではなく頭脳集団であるべきと長年言い続けてきました。頭脳集団というのは皆さんが現場で実施してきたことが、ロジスティクスのあるべき姿だったのかを振り返ることができるということです。経験をお持ちの皆さんは現場は得意なのかもしれませんが、ロジスティクスの専門講師から座学を受けることで、様々な考え方、価値観をこの3日間で身に付けられたのではないかと感じています。そしてお客様や協力会社に対して、ひいては県や国に対しても自分達の意見を自信を持って言えるようになったような3日間の研修であったと思います。琉通ロジスティクス総合研究所は県内初のシンクタンクで、その事業内容は本日の題材でもあるコンテナの数や物流施設の利用状況、市場の動向など情報を収集、分析し、物流の課題解決や活性化に向けた施策を提言し、現状の課題解決をすることが使命であります。

これまでの研修を振り返ると1回目の研修は業界の情報を学び、2回目は一般の常識を学んだ。そして3回目は自分事として身近にある(日本初かもしれない)コンテナGPS事例を取り上げた。それぞれ異なる題材を分析、情報活用、提案の視点でいかに相手に伝えられるかを学んでいただいたと思う。そして、皆さんにはこの研修で学んだことをすぐに実務に生かしてほしい。物流改善は現場からのボトムアップは必要だが、今はトップダウンが必要とされている。新しいことを受け入れ、引っ張る力、皆をまとめる力、責任と使命を今回の研修で頭脳集団として養っていただいたと思っている。第二期は物流に携わる会社を含めて来年1月～3月と人材育成を進めて沖縄の商流、物流を活性化させたい。琉通総研は立ち上がったばかりでまだまだ至らないが、沖縄企業の皆さんと共に発展していきたいと思っています。

